

第 19 回国際 IOM クラス(総務大臣杯)全日本選手権大会に参加して

ラジコンヨットを始めてもう 10 年以上になりますが、これまで 36 クラス、IOM クラスの全日本に参加でも、優勝はおろか、入賞さえしたことはありませんでした。今回、IOM 全日本に優秀、総務大臣杯もいただき、うれしさより驚きのほうが大きいというのが正直な感想です。

私の初代 IOM はニュージーランドの V3 という幅広のスキフタイプの艇で、強風向きで、B リグ、C リグでは抜群のスピードを出したのですが、微風・弱風は苦手としていました。今回優勝できた艇はイギリスの Widget という艇で、細身でキールやマストが船体中央より後方に位置していて、中風・強風域に加えて、弱風域でもまあまあの走りをします。5 年ほど前に購入しましたが、その年の世界戦で Brad Gibson が優勝した艇でもあります。

今回の全日本に向けて、特に作戦というものはなく、微風・弱風でのレースを想定して、A リグのセールを Housemartine から BG に変更しただけでしたが、良い方向に想定が外れ、A リグと B リグの境界付近という、私にも艇にも得意な風域でレースができたことが勝因だと思います。とにかく、特に何もしなくても艇がよく走ってくれました。

今回の IOM 全日本を関東で開催するに当たり、本部から多大な人的・物的支援をいただいたことに感謝いたします。関東支部の宮田支部長、平野さんからは早い段階から「運営は 2 人が専任で行うので、関東支部の選手はレースに専念して欲しい」と言っていただき、そのことが関東勢の 1 位、2 位、3 位、4 位独占につながったのだと思います。本当にありがとうございます。また、レース委員長の川本さんは各所との調整、レースの事前準備等で尽力いただきました。そのせいか、レースでは実力を発揮できなかったのですが、次の全日本ではまた暴れまくって下さい。事務局の堀江さんは総務大臣杯開催のため、湖の水面使用許可を取るのにご苦労されたと聞きました。レース結果集計のためエクセルの計算表を作ってください、入力、集計結果の検算もしていただいた西澤さんにもお礼を申し上げます。さらに岡田さんにはレース運営の細々とした雑務をやっていただきました。ありがとうございます。

兵藤プロテスト委員長の中立・公正なジャッジは、今後のレース運営の素晴らしいお手本になったと思います。ただ、一つ気がかりなのは、私がオブザーバーの時に選手に有利となる助言を行ったことに対して出された「イエローカード」、このカードはいつ消滅するのか、教えてもらえませんでした。次回の第 20 回 IOM 全日本では消滅していることを祈りつつ、よく走る艇の邪魔をしないように精進したいと思います。

総務大臣杯

